平成28年度
第2回SHARE-Qセミナー
（全学FD・SD）

ワールドクラスユニバーシティとしての九州大学：
世界大学ランキングに向き合う

日時 2016年10月17日（月） 午後2時～午後5時

会場 稲盛財団記念館（伊都キャンパス）

対象 本学の教職員

【プログラム】

14:00 総長挨拶 久保 千春（総長）

14:05 世界大学ランキングの意義と仕組み
河野 真子（SHAREオフィス・学術研究員）

14:35 九州大学のランキングにおける現状と課題、および展望
荒殿 誠（理事・副学長）

15:05 国立台湾大学の事例
傅 友祥（フー ユーシャン）教授（国立台湾大学 国際部副部長） ※発表言語は英語ですが、日本語による概要説明を行います。

15:40 質疑応答

16:55 総 括 緒方 一夫（副学長）

［お問い合わせ・お申込み先］ 締切10月7日（金）
事前の参加申込みをお願いします→https://goo.gl/forms/pxySQ5HN1nd5wlPT2
九州大学SHAREオフィス 電話：092-802-2198 E-mail：share@jimu.kyushu-u.ac.jp
SHARE-Qホームページ http://www.share.kyushu-u.ac.jp/japanese/message

平成28年度第2回SHARE-Qセミナー

ワールドクラスユニバーシティとしての九州大学：
世界大学ランキングに向き合う

本学のスーパーグローバル大学創成支援（SGU）である「戦略的改革で未来へ進化するトップグローバル研究・教育拠点創成：SHARE-Q」は、教育システム及び研究の国際化とガバナンス・制度改革を全学的に推進し、本学が世界的な研究・教育拠点となることを目指しています。SHARE-Qセミナーでは本学のSHARE-Qの内容や進捗状況、関連する話題を紹介し、世界的研究・教育拠点への道程を示します。

今回のセミナーでは、SHARE-Qで掲げる国際的評価の向上や本学の世界大学ランキングへの対応を取り上げます。「日本の大学は総じて世界大学ランキングにおいて不振」といわれています。我が国での研究教育のパフォーマンスを見る限り、実績は必ずしも悪くはないのに、台頭する他国の大学と比べると、順位が下降気味というのが現状なのです。これに対して、日本の大学人はどう応えるべきなのでしょうか。

そこで、本セミナーでは、世界大学ランキングの基礎知識と九州大学の現状について解説します。また、なぜ向き合うことが必要なのか、今後の目標と課題、教職員はどう取り組むべきなのか等について考えます。

さらに、海外での世界ランキング対応の事例として、国立台湾大学(NTU）の取り組みを、同大学の傅教授よりご紹介いただきます。NTUは本学とほぼ同じ教員規模、学部構成ですが、同じアジアの非英語圏の大学でありながら、世界大学ランキングでは本学よりも高いランクにある大学です。NTUの秘密はどこにあるのでしょうか。

多数のご参加をお待ちしています。

SHARE-Q
Strategic Hub Area for top-global Research and Education-Kyushu University

招待講演者プロフィール

傅 友祥 教授（Prof. FU Bennett）

国立台湾大学 国際部副部長（2013年-現在）
モントリオール大学（カナダ）にて英文学博士号取得。モントリオール大学、コンコーディア大学で教鞭を取った経験を持つ。現在は国立台湾大学Literatures教授。Department of Foreign Languages and Literaturesの教授。

＜国立台湾大学＞台湾トップの国立大学。1928年設立。11学部（文学部、理学部、社会科学部、医学部、工学部、生物資源・農学部、マネジメント学部、公共衛生学部、電機情報学部、法律学部、生命科学部）よりなる。教員数約2,800名。学生数約32,000名（学部生約17,000名、大学院生約15,000名）と、学部教育と同程度規模の大学院教育を提供する研究大学。2015年発表の世界大学ランキングでは、QS世界ランキング70位、Times Higher Education世界ランキング167位に位置している。